

目黒区

目黒区は特別区全国連携プロジェクトの趣意に賛同し、引き続き日本の元気創造に向けた取り組みに参加していきます。

プロジェクトが発足してからの10年間、このプロジェクトが橋渡し役となり、地域との交流を通じた相互理解、課題の共有、課題解決など、共栄共存に向けた重要なプラットフォームとして機能してきました。さらに、コロナ禍を機に「新しい生活様式」が生まれ、オンラインを活用した事業など、その選択肢が広がったことで継続した事業展開も可能となりました。目黒区においても、本プロジェクトの支援を活用し、友好都市も参加して行う「目黒区民まつり」や、各都市の物産展、区民を対象とした「友好都市ツアー」などの事業を展開し、相互交流を行っています。まずは、プロジェクト関係者の皆様のご尽力に感謝するとともに、より一層の発展に向け、目黒区も協力していきたいと考えています。

『目黒区民まつり』は、目黒区を代表する祭の一つで、今年で48回目の開催となります。最も有名な「目黒のさんま祭」では友好都市・宮城県気仙沼市で水揚げされたさんまを炭火で焼いて、来場者に振舞っています。焼きあがるまでの間、気仙沼の方々とのふれあいも楽しみの一つです。



また、同じく友好都市である、宮城県角田市や石川県金沢市などの名産品を販売する「ふるさと物産展」でも、多くの来場者との交流が行われています。1日間だけのイベントですが、毎年3万人以上の方々にご来場いただいています。